



建設業しんぶん

Oct.2026 No.582

令和8年10月10日発行
第1巻 第5号 通巻第582号

編集・発行 一般財団法人 建設業振興基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門ビル29号館

建設業

建設産業の今を伝え
未来を考える

しんぶん



フロンティア
FRONTIER
建設の最前線へ!

PROFILE

おざわ りょうへい
小澤 涼平 さん
株式会社中筋組
島根県出身



「なにかをつくる仕事がしたい!」夢を叶え、地元出雲のインフラを守る、監理技術者の飽くなき探求。

「子どもの頃からブロックなどで遊ぶのが好きで、将来は何かをつくる仕事がしたいと考えていました」。島根県出雲市を拠点に、公共事業を中心とした地域インフラ整備を牽引する株式会社中筋組。同社で監理技術者として活躍する小澤涼平さんの原点は、ものづくりへの純粋な興味だった。高専の土木科で橋や道路について学び、自らもつくってみたいと土木業界を志望。「働くなら、地元出雲のトップ企業で」と、中筋組へ入社した。

入社以来、多様な現場を経験してきた小澤さん。最大の転機となったのが、数年前に担当した大規模な道路改良工事だ。開通に向けた最重要区間であり、厳しい工期遵守が求められていた。「構造物をつくるために掘削を進めると、想定外の軟弱地盤が判明しました。そのままでは構造物が沈下してしまうため、発注者との協議や対応に非常に苦労しました」。施工範囲が広大だったため、複数の施工班を同時進行させるという高度な工程管理を実施。「経験豊富な先輩と相談しながら進められたことが、工期内に完成できた大きな要因です」と振り返る。結果的に予定通り無事完成させ、工事成績評価でも高評価を獲得。国土交通省の事務所長表彰を受賞したことが、技術者としての大きな自信につながった。

現在も監理技術者として、現場の最前線で指揮を執る。「一番重要視しているのは安全面です。“ここまでやれば事故が起きない”という明

確な基準がないからこそ、その点には一切妥協しません。工程管理においても、トラブルを見越した余裕のある計画の立案を常に心がけています」。また、同社のDX部とも連携し、新技術は積極的に導入している。「歩くだけで測量できる機器や、重機内に掘削方法が表示されるマシンガイダンスなどを活用しています。目印となる丁張りの設置作業がなくなるなど、現場の効率化に貢献しています」。こうした取り組みは、会社の時間外労働削減や完全週休二日制の実現にも直結している。

多くの職人をまとめるうえで、小澤さんが大切にしているのがコミュニケーションだ。「入社1年目の頃、先輩から“周りに気を使える人間になれ”と言われたことが今も心に残っています。仕事でもいろいろな角度から物事を見なさいという教えでした。相手の目を見て大きな声で挨拶をし、休憩中には何気ない会話を欠かさず。また、若手社員を指導する際には「まず今やっている作業の目的を伝えてから、仕事を教えるようにしています」と、相手の納得感を重んじている。

休日には2人の息子のサッカー観戦でリフレッシュし、仕事への活力を養う。「工事期間中は苦労も多いですが、完成した現場を見ると格別な達成感があります。地域の安全・安心な暮らしを支え、形として長く地域に残り続けるこの仕事に誇りを持っています」。どんな現場でも任せられる技術者を目指し、小澤さんの挑戦は続く。

グレートジョブ
Great Job!



株式会社
中筋組
代表取締役社長
中筋 元尚 氏

この度、「不動産・建設経済局長賞」ならびに「優秀賞(労働環境の改善、働き方改革部門)」を賜り、大変光栄に存じます。弊社は、社員が「働きたい」「誇りに思える」、そして自分の子どもたちにも引き継いでほしいと思える仕事・会社でありたいと考えています。そのためには、働きやすい環境を整えるだけでなく、時代の変化を捉え、新しいことに挑戦し続けることが大切です。これからも社員一人ひとりの挑戦を応援し、地域や若い世代から「選ばれる会社」を目指すとともに、建設業の魅力向上と業界の発展に貢献してまいります。

建設人材育成優良企業表彰「不動産・建設経済局長賞」「優秀賞(労働環境の改善、働き方改革部門)」を受賞

特集

「建築物のエネルギー消費性能の
向上等に関する法律の一部を
改正する法律案」について

今月の人材協

こども霞が関見学デー



建設キャリアアップシステム

人を大切に育てる新しいシステムです
事業者・技能者みなさまのご登録をお願いします



一般財団法人
建設業振興基金